

ハーベス HL-P3ES-2

¥198,000pair



準推薦

神崎

型式	密閉/ブックシェルフ型
使用ユニット	[W]11cm(T)2.5cm
許容入力レベル	45W(MAX)
出力音圧レベル	82.5dB/W(m)
再生周波数特性	76~20kHz(±3dB)
再生周波数特性	76~20kHz(±3dB)
クロスオーバー周波数	3500Hz
ネットワーク	18dB
公称インピーダンス	6Ω
入力端子	バイワイヤリング・バイアンプ対応
専用スタンド	なし
最大音圧レベル	82.5dB/W(m)
大きさ	188W×305H×194Dmm
重さ	5.7kg
輸入代理店	ノア

独自開発のラジアルコーンを採用した200mm中・低域ユニットに、高耐久力設計のアルミニウム・ハードドーム・トウィーターを組み合わせた2ウェイシステム。「RADIAL」コーンは、軽量で堅牢なポリプロピレンのメリットを活かしながら、アルミニウムの配合を最適化することに成功したもので、中心から周辺にかけてブレンド量を変えている。エンクロージャはフロントとリアのバッフルが取り外せる構造で、適度に無用な共振を逃がしている。さらに、硬度の高い素材の間に、レゾナンス、ステイフネスの異なる複数の素材を挟んだサンドイッチ構造で、特に低い周波数帯域では呼吸することく動作し、木製の楽器に近い状態にしている。

(選藤)



入力端子はバイワイヤリング対応。ウーファーは独自に開発したRADIALコーンが使われている

能率が低いが、ワイドレンジ感ほ伝統の小型モニターの系統。密閉型のため量感で満足させる低域ではなく密度感で聴かせる。やや緊張感を伴った音で、スコアにある音を漏らさず表現しようという印象がモニター感覚につながるようだ。オケはやや箱庭的ながらそれなりに感じさせるが音量を上げたくなる。ボーカルの高域は少々強め、で声を張ると中高域に多少のキャラクターがのぞく。

石田

超小型ブックシェルフに属する2ウェイで、外観からは割とトラディショナルな作りを感じさせる。ウーファーの口径の小ささからくる低域の量感の少なさは感じられるものの、必要帯域内に妙なくせのある音がなく、低域の量感不足のハンディはあまり感じさせない。殊に音楽に必要な帯域には充実感さえ感じさせる。音場は想像以上に豊かで、アコースティックなソースでの魅力は素晴らしい。

神崎

BBCモニターを手掛けていたハーベスだが、本機もその流れを感じられるコンパクトな2ウェイシステム。レンジも適度な拡がりをもつフラットバランスで、帯域内のエネルギーを軽く絞り込んだ厳格なフラットバランス。低域はクリーンでスピード感に溢れ、中域は伸びやかな音像を映し出し、高域はプリリアントに切れ上る。アコースティックもクリンで奥行きもある。フォーマルなサウンド。

斎藤

トータルバランスに優れた質感が好ましい。チェンバロなどでは弦の振動する様が見えているかの描写力と骨太な響きの美しさがあって楽しい。ストリングオーケストラのステイジにはバランスの良さがあって低域の雰囲気も悪くない。クラリネットの木質感も良好である。多少細みかもしれないボーカルの明瞭な定位も印象的である。パーカッションの軽快な弾み感には見通しの良さもある。

須藤

能率の低いミニチュアサイズ。音圧を出すには適さないがクラシックのアンサンブルを近接した条件で聴くと、ステイジがスピーカー後方いつばいに広がり各パートが整然と現れる。前方でダイナミックに結ばせる力や陰影の深い傾向ではないが、プログラムに含まれる正相と逆相成分の差をはっきり出し、間接音成分が広がる。ナチュラル基調で質素な音質の中に強調のない表現。

福田

コンパクトな2ウェイ。イギリス・ハーベスの最小モデルだ。キャビネットは上質で仕上げも良好だ。音は重苦しさがなく軽妙。弦楽合奏は爽やかでコントラストもたつぷりとして豊かな響き。寸法比以上の広いステイジイメージがある。その一方で定位がシャープに決まる。キャビネットの鳴きを手生かしているようだ。伸々として屈託のないサウンド。ピアノのバランスも良好だ。

藤岡